

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究者および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	宇都宮大学 オプト-バイオシンポジウム 会場：宇都宮大学 (陽東キャンパス)
演題名	微細藻類ユーグレナのフィトエン合成酵素遺伝子の発現抑制がカロテノイド組成に及ぼす影響
発表者	○ <u>曾篠 美花</u> *[1]、 <u>加藤 翔太</u> **[2]、 <u>高市 真一</u> [3]、 <u>石川 孝博</u> [4]、 <u>朝比奈雅志</u> [1]、 <u>篠村知子</u> [1] (植物分子細胞学研究室) [1]帝京大・院・理工、[2]帝京大・理工、[3]日本医大、[4]島根大・生物資源
内容	カロテノイドは、光合成生物の光防御機構の一つとして重要な役割を果たしています。本研究では、ユーグレナのカロテノイド合成系の初発酵素EgCrtB遺伝子をRNAi法を用いて一過的に発現抑制すると、カロテノイド含量が減少し、光ストレスを受けやすくなり細胞増殖が抑制されることを明らかにしました。 本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H28年度の本研究室の卒研生、大学院生(*) および博士研究員(**) も参加して活発な研究交流を実施しました。
関連画像	